

月報 2026 年 7 月 31 日 NO425

7 月号

四方通信



石城山岳会事務局編集

魅惑の奄美ツアー 加計呂麻島戦跡巡り

台倉高山から田代山そして檜枝岐の古道歩き

志津倉山 (1234m)

2026 年登山教室「茶臼岳・朝日岳」登山

魅惑の奄美ツアー 加計呂麻島戦跡巡り

2026年7月2日(火)

吉田睦、秋葉信夫、小川美代子

瀬相の海軍指令所跡、戦没者慰霊碑見学 加計呂麻島は奄美大島南側に大島海峡を挟んで寄り添う島。そのため軍事的に重要で多くの軍事施設が置かれた。

実久の砲台跡探索 観光案内にも載っていないので睦さんの記憶を基に歩く。踏み跡はあるものの所々藪に埋もれて分り難い。105m ピーク付近に砲台跡や弾薬庫、指令所跡などを見つけ戻る。途中で西に向かう分岐を見つけ辿ってみると砲台跡、宿舍、弾薬庫、指令室などが藪に埋もれているのを見つけた。約2時間かかったが、ちょっと冒険的で面白い経験でした。



海軍特攻隊基地跡 第二次世界大戦終盤、特攻隊は航空機だけでなくモーターボートでも計画されていた。しかし、作戦は実行される前に終戦を迎える。吾之浦はその基地であり特攻艇が復元されている。その特攻兵の死を待つ心情を小説にした島尾敏雄の慰霊碑を見学。

安脚場戦跡公園 こちらは公園として整備されており、同じく砲台跡や監視所、弾薬庫、指令室等を見ることができる。専門のガイドもいて、多くの観

光客が訪れている。いずれにしても、戦争は何物ももたらさず。二度と戦争を起こしてはならないという思いを深くしました。



台倉高山から田代山そして檜枝岐の古道歩き

期日 2026年7月8日(水)～7月9日(木)

参加者 秋葉、三角智子、三角孝



今回は田代山避難小屋(弘法大師堂)を宿泊利用させていただきました。避難小屋、隣接するトイレともに綺麗に管理されていて感激しました。今回が6件目の避難小屋利用のんびり山行になりました。

山域ではオサバグサの季節はほぼ終わりでしたが、ハクサンシャクナゲやタデヤマリンドウ、ゴゼンタチバナが多く見られました。花の百名山の田代山湿原を周回しながらあれこれと花を探しながら散策、チングルマは果穂の時季に移り変わっていました。

2日目のメインは檜枝岐の古道歩きと巨木巡りです。バス利用で、古道は下るだけと考えていました。が時刻表と合わず会津沼田街道を上り、御池古道を下るというフルで歩く良い機会となりました。ヤマオダマキ、エゾアジサイなど、珍しい花では抱返ノ滝横でショウキランも見ることができ、田代山湿原の花と趣が異なる花々を見ることができました。古道沿いでは直径1mを超える巨木ブナ、クロベやトチノキ等を見ることができました。のんびり歩き、2日間で24.3kmになりました。

(文責：三角孝)



【コースタイム】

1日目 9:20 馬坂峠 → 台倉高山ピストン → 13:00 馬坂峠(装備変更) → 13:55 帝釈山 → 15:10 避難小屋 → 15:25 田代山湿原散策 → 16:10 避難小屋泊

2日目 5:25 避難小屋 → 6:15 帝釈山 → 6:55 馬坂峠 (車で移動) 8:00 七入駐車場

・会津沼田街道(上り) 8:15 駐車場→10:10 抱返ノ滝 → 10:45 沼山峠休憩所 11:00(バスで移動)

・御池古道(下り) 11:20 御池ロッジ → 12:20 モーカケノ滝展望台～12:25 → 12:55 七入駐車場

台倉高山～田代山：(距離)14.1km ↗1088m

檜枝岐古道：(距離)10.2km ↗715m

志津倉山 (1234m)

日 時 : 2026年 7月 11日 (土)

参加者 : 秋葉、三角孝、三角(智)、岩崎、松崎

三島町、昭和村にまたがる志津倉山に行ってきました。

新うつくしま百名山、東北百名山に選定されている霊山です。

登山口からすぐにある志津倉の鐘を鳴らして大沢コースを登っていくと、突然巨大な一枚岩の雨乞岩が現れて圧倒されます。

蒸していたこともありシャクナゲ坂の急登では全身ずぶぬれ状態の大汗でした。

そんな中でも、梅に似たまたたびの花の良い香りやタムシバの爽やかな枝の匂いにいくらかでも疲れを紛らせて、と素敵なお話をリーダーさんから教えていただきました。

やっと尾根に着くと、東へ 1km の所に志津倉山(1203m)本峰があるそうですが、そこらには向かわず西側の三角点のある山頂(1234m)を目指しました。



山頂では雲がかかり、うっすらとあれが浅草岳だろうという展望でした。

尾根伝いの見事なブナ林を気持ちよく歩き、下りは細ヒドコースです。

ここも急坂で、鎖・ロープに助けられ慎重に下りました。糸滝を過ぎブナ平ではブナ・栃・サワグルミの志津倉山巨木3兄弟がいて、これかな？と目を見はり写真を確認しながらトレッキングコースを歩くと、

登山口に無事戻りました。ブナ林と雨乞岩が印象的な山でした。

下山後は三島町宮下駅近くの食堂でお腹を満し、三島町生活工芸館を見学しました。

奥会津の編み組細工は国の伝統的工芸品に指定されているそうで、趣のあるカゴやザル、手さげなど展示販売されていました。暮らしの中で植物を紡ぎ、ものを作り上げる手仕事って豊かですね。

締めは柳津のできたてあわまんじゅう。甘さかげんが丁度良く、下山後の身体に染みわたりました。

タイム 3:43 距離 4.3km ↗ 564m ↘ 562m

【コースタイム】

志津倉山登山口 7:54 ~ 大沢沿い ~ シャクナゲ坂 ~ 三本松 ~ ブナ平 ~ 志津倉山 9:56 ~ 10:20 ~ ブナ林 ~ 細ヒド ~ 糸滝 ~ ブナ平 ~ 志津倉山登山口 11:38



(文責 松崎)

2026 年登山教室「茶臼岳・朝日岳」登山

2026 年 7 月 12 日（日）

参加者

1 班 白金、星、菅野、小谷野、青天目、矢内

2 班 根本、先崎、谷口、安達、大方、二瓶

3 班 鵜沼、小室、鈴木、西、飯高

（天気 曇り・小雨）

（コースタイム） 距離 8.8km・山行 4 時間 36 分 休憩 47 分 合計 5 時間 23 分

峠の茶屋駐車場（7：04）→那須岳登山入口（7：08）→峰の茶屋跡避難小屋（7：46）→
朝日岳山頂（8：36）→朝日岳の肩（8：41）→峰の茶屋跡避難小屋（9：28）→
茶臼岳山頂（10：11）→牛ヶ首（11：21）→峰の茶屋跡避難小屋（12：02）→
那須岳登山口（12：36）

（山行コメント）

登山口で山の神様に安全登山を祈願し、予定どおり出発した。登山教室第 4 回目の山行であり、茶臼岳・朝日岳ともに初めての登山となったため緊張もあったが、先輩方のアドバイスを受けながら歩を進めた。

登山中は気温の変化が大きく、上着を脱ぎ着しながら体温調節を行った。峰の茶屋跡避難小屋では風が強く、天候の悪化が予想されたことから、リーダーの判断で朝日岳へ先行するルートに変更した。この判断により、朝日岳山頂では雲の切れ間から展望を楽しむことができた。

朝日岳から峰の茶屋跡避難小屋へ戻る途中から雨と強風となり、全員が速やかにレインウェアを着用して茶臼岳へ向かった。茶臼岳への登りでは終始濃霧に包まれ、視界がほとんど利かない状況であったが、足元を確認しながら慎重に歩行し、無事に山頂へ到着した。山頂ではお鉢を時計回りに回って三角点を確認したものの、周囲の展望は得られなかった。

その後、牛ヶ首へ向かう頃には天候が回復し始め、峰の茶屋跡避難小屋で昼食休憩をとった。下山時には空も明るくなり、振り返ると先ほどまで雲に隠れていた茶臼岳や牛ヶ首の雄大な景観を望むことができた。

今回の山行では、短時間で大きく変化する那須岳の気象条件を実際に体験し、天候の変化に応じた的確なルート判断や早めの装備対応の重要性を学ぶことができた。また、山では常に自然を敬い、安全を最優先に行動することの大切さを改めて実感した、有意義な登山教室となった。

（文責：星）

